

2021年10月10日、日曜日。カルチャー日吉で初めての秋開催の英検実施でした。

小学生にとって夏期休暇期間は、勉強に集中する環境にないことを考え、秋の開催を控えていましたが、コロナ過となり、感染者数も増加傾向にあった6月の開催を急遽取りやめ、感染対策をしっかりとしながら秋の開催に踏み切りました。今回は15名の子供たちがチャレンジしました。

スポーツの大会や学校行事、さらには塾などの試験と重なることが予想される秋の英検実施。保護者の方には「英検は年に何度もあります。大会や行事、模試は一発勝負でしょうから、大事な方を優先してくださいね。」とお伝えさせていただきました。試験当日、お申込み者全員が受験することができ、ほっとしました。

イラストもなく、ただただ英文だけがびっしりと印刷されたプリントをみて、最初は固まっていた子供たち。しかし試験直前にはポンポンと答えられるようになる・・・この成長ぶりには、毎回のことですが私にとっても、スタッフ一同にとっても望外の喜びです。ご家族の前ではそんな身振りを見せないかもしれませんが、子供たちは見えなくて努力をし、コツコツと学習に向き合ってきました。決して投げ出さず逃げ出さないで・・・。

学習することを習慣化すると、成長します。そして最後には、楽しんで成果を出す!!! これは、大人の私たちも見習うべき姿勢です。

合格点に届いた子供たち、もう少しで届いた子供たち。結果はいろいろですが、英検協会から送られてくる成績表をみると、どのお子さんもみんなものすごい成長ぶりです。

試験の2か月前。空欄に単語をいれることすらままならなかった彼らは、試験直前には文章を作れるようになるまでに成長します。「わかると嬉しい。わかると楽しい。」とご家庭でお話してくれているとのこと。学びが喜びになったのは、自身の努力が実を結んだ証拠です。

私たちは「試験とは判定されるもの」と思いがちですが、子供たちにとっては、「どれだけわかるようになったかチェックしてくれるもの」と捉えているようです。

猛暑の中、感染対策のため教室の窓を開け放った状態で授業を受けていた子供たち。暑い!とか かったるい!とかの言葉は一切言わず、真剣に授業に向き合い目標に向かって進む姿を、ご家庭のご家族の皆様にも、見ていただきたくったくらいです。

今年も前回同様、試験終了後の退室時に、恒例のハイタッチとねぎらいのハグ・(毎回、子供たちには「それだけはないわぁ〜」と笑われています!)もできなかったけど、このコロナ禍で学び続けて果敢にチャレンジしてくれたことに、心から尊敬の意を込めたいと思います。

本当にお疲れさまでした。そして、ご家庭でたくさんのサポートをしていただき、心より感謝しております。講師と子供たちを支えていただきありがとうございました。

